

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ子育て支援教室		
○保護者評価実施期間	2025 年 2 月 1 日 ～ 2025 年 2 月 28 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025 年 2 月 1 日 ～ 2025 年 2 月 28 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 3 月 15 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	カリキュラムの充実性	様々なカリキュラムを行い、個々に合わせた内容を職員で話し合いながら決めるよう取り組んでいる。また、イベント等を開催して保護者様も参加しながら普段の様子をみてもらえる機会をつくっている。	専門的な知識を持った理学療法士や言語聴覚士などの配置または、専門的な支援のできる職員の指導のもと定期的な専門的カリキュラムの開催を検討している。 また、法人全体を通してダンス療育を行っている。
2	職員間の連携	毎日のミーティング、支援会議、支援後のミーティング等を行っている。会議では一人一人の意見を尊重し意見を出し合っている。モニタリングなど振り分けをし職員全体で子どもの成長に向き合っている。個々の支援に繋がるよう日々、努力に努めている。	会議等に参加できない職員に対しても、連絡ツールを作りその場で意見交換できる場を作っている。職員の人数が多い為、伝達も漏れないように確認を行ったら必ずチェックをし一人一人返信してもらうようにしている。
3	保護者との関係性	保護者の皆さんの悩み等、一人ひとり寄り添いながら親子支援を行っている。連絡も多くとり、不安なことや気になることがあったときにはいつでも連絡がとれるような体制を作っている。	個別の悩みに対応し、事業所で使っている絵カードやパネル等を家庭でも活用できるように準備をしている。同じものを使うことで支援に統一性が出ることが期待できる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境構成	ビルの3階という立地。カリキュラム等で公園や広場での活動をしているが、外に出て体を動かすことが身心の成長に繋がる年齢のため、事業所にすぐに出れる園庭などの設置が不可欠と考えている。	事業所の移転が必要である。老朽化などもあるため、工夫しながら大事に使っているが、保護者様の不安の声もあるため早急に対応が必要。法人全体としての移転も視野に検討中。
2			
3			